

すべての子どもによりよい保育を！

全保連活動推進ニュースFAX版

2023. 7. 27

全国保育団体連絡会 / TEL:03-6265-3171 / FAX:03-6265-3230 / URL <https://www.hoiku-zenhoren.org/>

大雨・集中豪雨による浸水被害相次ぐ…! 災害募金にご協力下さい

7月、記録的な大雨による浸水被害が各地で相次ぎました。福岡・秋田では、連絡会関係園が、床上浸水の被害を受け、災害復旧に追われています。そこで、災害募金にとりくむこととしました。ご協力下さい。

＜募金振込み先＞

下記の郵便振込口座にお振込みください。

口座番号 00110-8-117536 加入者名 全国保育団体連絡会

* 郵便局備え付けの振込用紙に、「災害募金」と明記し、〒番号、住所、電話番号、氏名（団体名）を記入して下さい。
振込手数料はご負担ください。

秋田市・こぼと保育園

7月15日（土）は土曜保育をしておりましたが、集中豪雨により地域の川に流れる排水が追い付かず、水が道路を伝ってどんどん迫ってきました。そのため子ども達を2階に避難させ保護者には緊急お迎え要請をいたしました。13時過ぎには子ども達のお迎えも完了し職員も安全確保のために保育園を離れました。翌日になっても水が引かず、私たちが保育園に入ることができたのは17日（火）になってからでした。保育園には汚水が上がってきたようで、夏まつり用に製作していたおみこしやロッカーは泥にまみれていました。駆けつけてくれた保護者やOB・OGの皆さんの助けも借りながら、1階フロア（2～5歳児室、給食室）からすべてを運び出し、床の洗浄、災害ごみの分別をいたしました。長い間汚水に浸かっていたこともあり、1階フロアの約8割の物がゴミとして処分することになってしまいました。本当に残念なことです。しかしながら子ども達が無事であったことが救いです。24日（月）からは3か所での分散保育となりましたが、保育を再開することが出来ました（こぼと保育園より）。

福岡県久留米市・大橋保育園

●7月10日の大雨で川が氾濫し床上浸水。1回目（2020年）に被災した際は、水がすぐに引いた為、園舎へのダメージは少なかった。そのため、床の拭き上げ等により現園舎での保育の再開ができた。さらに、門扉に1m程度の防水板を設置し、川の氾濫による大水が園敷地内に侵入しないための対策をとった。

しかし、今回は防水板を越えて浸水し、1m以上の床上浸水となった。水が1日以上引かなかったため、園舎へのダメージは甚大。現園舎で保育を再開する場合、2ヶ月以上の工事が必要となる。

●現敷地での保育を再開する場合、次の大水の備えとして、現設備以上のことは財政的にも難しいと考えられる。そのため、より安全な場所への移転も視野に入れる必要があるが、それも財政的な課題が大きい。

●現園舎での保育は不可能なため、まずは、公民館1ヶ所での保育を再開し40名程度を受け入れた。7月24日からは全園児受け入れのため、近隣の公民館2ヶ所、公立保育所1ヶ所（2部屋）での分散保育を実施している。（支援で現地を訪問した福岡保育センター・福岡経営懇の中岡さんより）。

* 大雨等の被害や自治体の対応等、お知らせ下さい。 FAX03-6265-3230 メール info@hoiku-zenhoren.org